

KITZ

CNGステーション用 高圧トラニオンボールバルブ

UTC33シリーズ



株式会社 **キッツ**

今、動いている未来へ

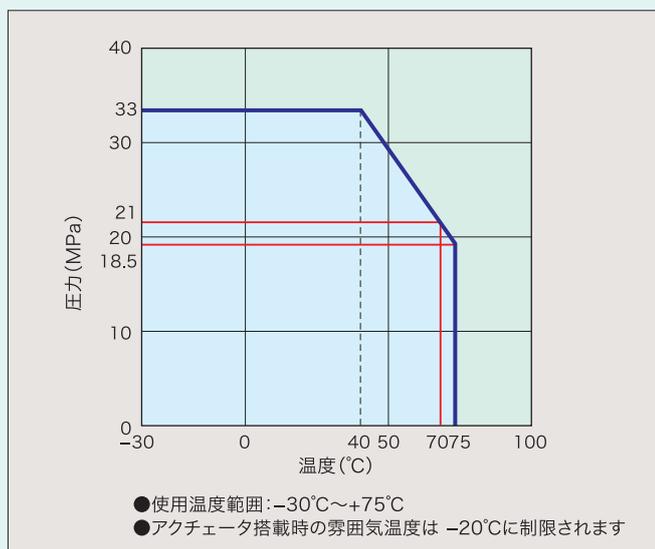
地球温暖化の抑制や大気汚染の改善等で大きく注目される天然ガス自動車(Natural Gas Vehicle)。NGVへの天然ガス充填、およびCNGステーションにおける安全で確かな流体管理・制御のために開発されたキットUTC33シリーズは、最高許容圧力33MPa※1の優れた性能でCNGステーションの発展・拡充に貢献します。 ※1:NGVに使用される圧縮天然ガス(CNG)は20MPa

- 手動・自動(空圧)、二方・三方弁の各3サイズ、計9機種をラインナップ
- 自動操作用には、コンパクトな当社空圧CS型スプリングリターンアクチュエータを搭載
- 三方弁は操作トルクが軽く、二方弁は回転軸からの漏れをシャットアウト
- 高圧ガス認定は都度対応
- リミットスイッチなど各種アクセサリ付のオプション仕様が多彩
- メンテナンス用パーツ供給も可能

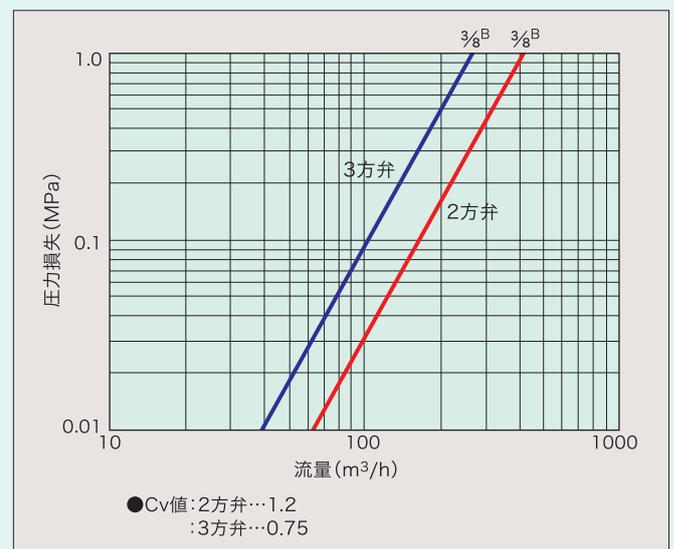
■構成部品

部品番号	部品名	個数	材 料
1	ボデー	1	SUS316
2	キャップ	2	SUS316
3	ステム	1	SUS316
4	ボール	1	SUS316
9	ハンドル	1	PPS+C3604
19	ガスケット	2	PTFE
30	ボールシート	2	Poly Ether Ether Ketone
39	ハンドル止めねじ	1	SUS304
45A	Oリング	2	H-NBR
45B	Oリング	2	NBR
67A	ベアリング	1	Poly Ether Ether Ketone
67B	ベアリング	1	Poly Ether Ether Ketone
67C	ベアリング	2	Poly Ether Ether Ketone
72	平行ピン	1	SUS304
113	袋ナット	2	SUS316 : PARKER HANNIFIN
143	皿ばね	12	SUS304CSP
146A	バックアップリング	1	グラスファイバー入PTFE
146B	バックアップリング	4	グラスファイバー入PTFE
150	シートリテーナ	2	SUS316
155	スペーサ	2	SUS316
184	フロントフェルール	2	SUS316 : PARKER HANNIFIN
185	バックフェルール	2	SUS316 : PARKER HANNIFIN
186	パネル取付用ナット	1	SUS304

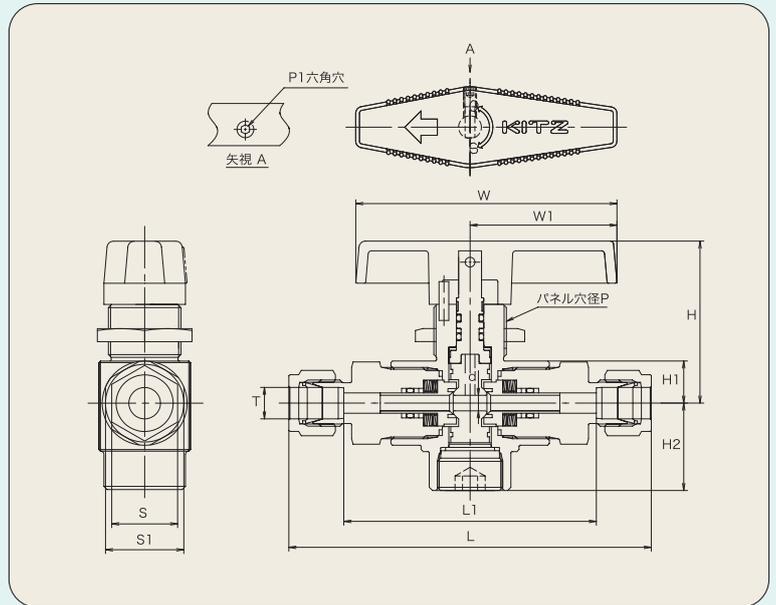
■圧力-温度基準



■圧力損失



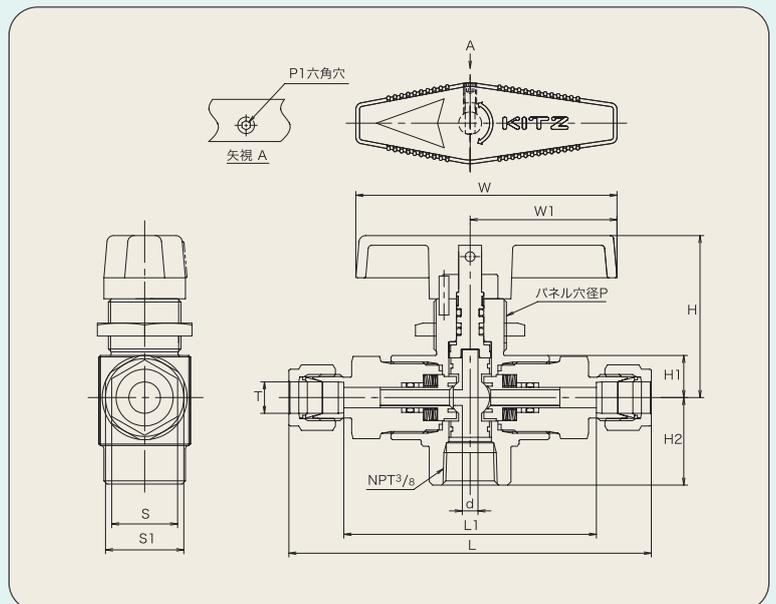
UTC33-CH / T形ハンドル ストレート形 二方弁



単位:mm

呼び径	チューブ外径 T(インチ)	S	S1	L	L1	H	H1	H2	d	P	P1	W	W1	製品記号
1/4 ^B	1/4	14.28	24	105	74.5	50	13	27	4.8	23	2.5	80	45	UTC-33CH-02
3/8 ^B	3/8	17.46		111	77.5									UTC-33CH-03
1/2 ^B	1/2	22.22		117	71.0									UTC-33CH-04

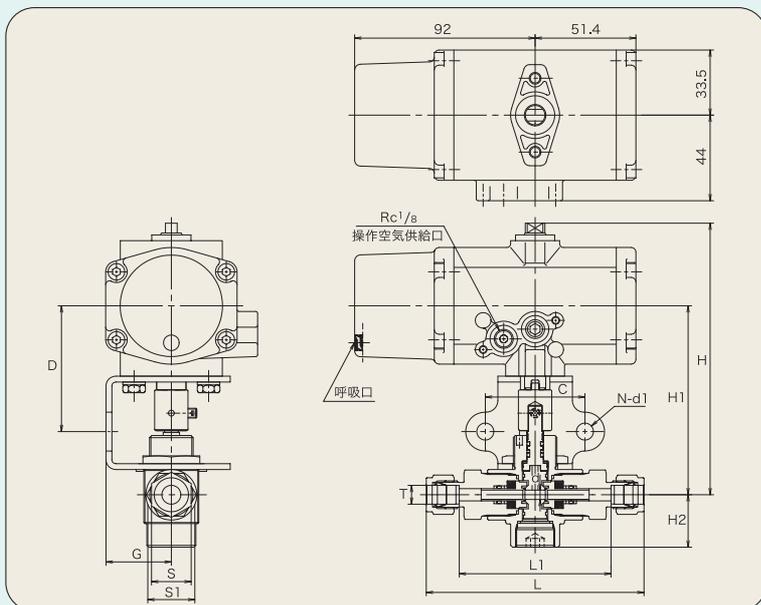
UTC33-LH / T形ハンドル 縦形 三方弁



単位:mm

呼び径	チューブ外径 T(インチ)	S	S1	L	L1	H	H1	H2	d	P	P1	W	W1	製品記号
1/4 ^B	1/4	14.28	24	105	74.5	50	13	27	4.8	23	2.5	80	45	UTC-33LH-02
3/8 ^B	3/8	17.46		111	77.5									UTC-33LH-03
1/2 ^B	1/2	22.22		117	71.0									UTC-33LH-04

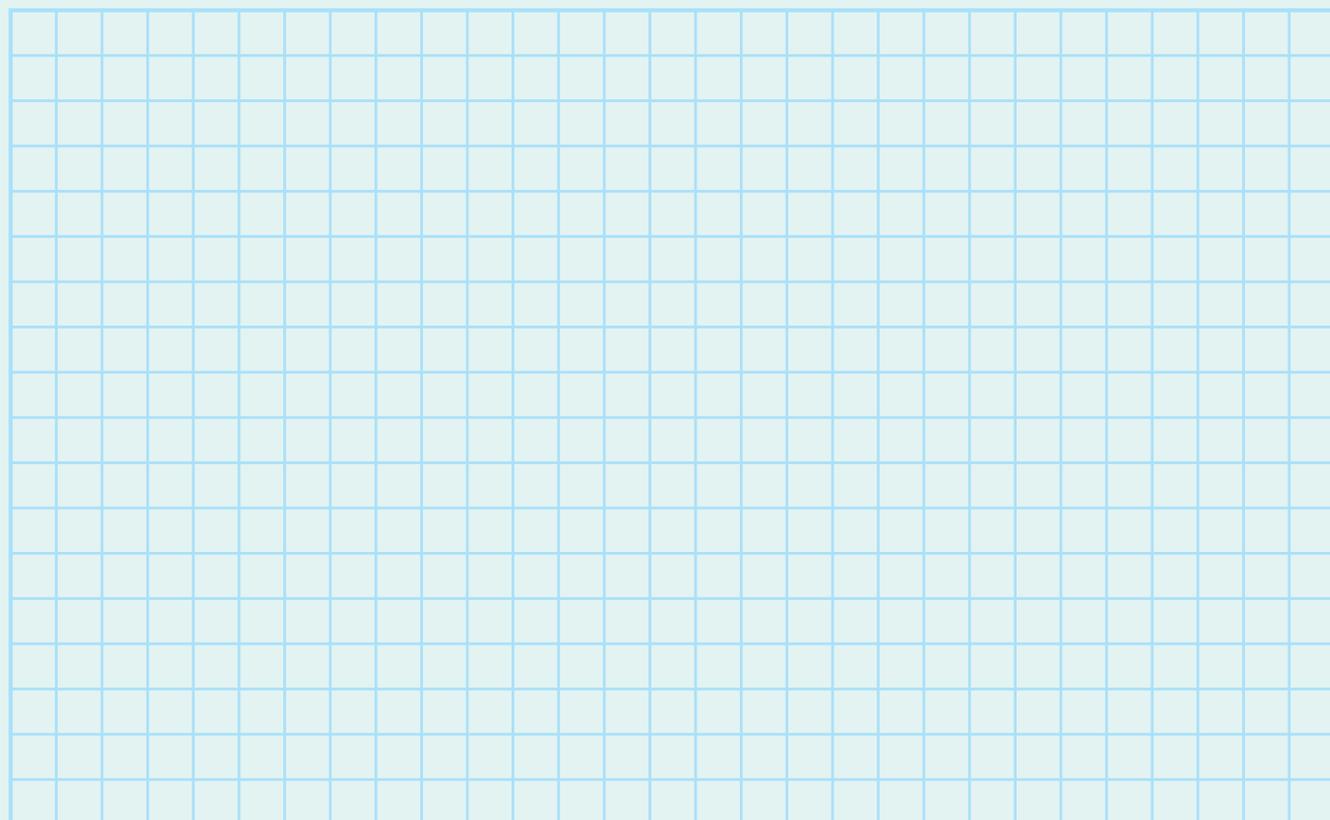
CS-UTC33-CH / 空圧スプリングリターン型 アクチュエータ ストレート形 二方弁



単位:mm

呼び径	チューブ外径 T(インチ)	S	S1	L	L1	C	D	G	N	d	d1	H	H1	H2	製品記号
1/4 ^B	1/4	14.28	24	105	74.5	50.8	64.7	33.3	2	4.8	8.7	139.7	97.2	27	UTC-33CH-02
3/8 ^B	3/8	17.46		111	77.5										UTC-33CH-03
1/2 ^B	1/2	22.22		117	71.0										UTC-33CH-04

MEMO



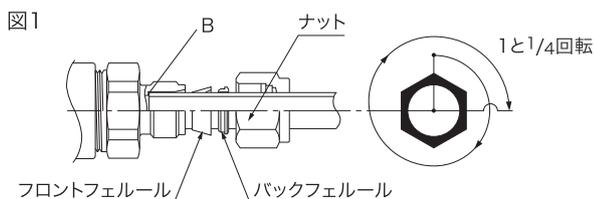
取扱注意事項

※ご使用前に必ず製品同梱の取扱説明書をよくお読みください。

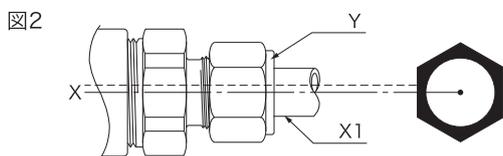
3 配管取付-2

3-2 バルブを配管取付する前に次の項目を確認してください。

- 使用流体圧力とバルブ仕様が合致している。
- 使用するチューブサイズが適正である。
- バルブ及び継手部に損傷が無い事。また部品の欠落が無い事。
- バルブを接続する前に配管内のゴミやスケール等を除去してください。
- バルブを投げ出したり、落下・引きずり・転倒等の衝撃を与えないでください。
- 配管取付直前にバルブの保護を取外してください。
- 管はチューブカッター等を使用し直角に切断して、端面の内外バリ等はきれいに取除いてください。また配管のフェールル圧接部に傷・へこみが無い事を確認してください。
- ナットを外さないで、管はそのままナットの穴に差し込んで、継手本体の管突き当て部(図1[B部]参照)に確実に当ててください。
- ナットがボデーにしっかり固定されるまで指で締め込んでください。この位置がフィンガーポジションと言います。
- キャップ本体の六角部分にスパナを掛けて本体が回らないように保持し、もう一本のスパナでナットを締め込んでください。この時のフィンガーポジションからナットの締付け回転は1回転と1/4回転させてください。



- 配管取付終了後は、必ず各締付部を点検し、緩んでいたら締直してください。
- 配管取付終了後は、必ず配管ラインのバルブを全て全開にし、フラッシングにより管内の異物を除去してください。フラッシング中はバルブの開閉操作は絶対に行わないでください。
- 一度管を接続し継手を分解して、再び配管接続をする場合には、ナットを緩める前にナットの位置をチョーク等で合いマーク(図2[X-X1線]参照)を付けてから外してください。そして再締付の時は、ナットの元の位置より僅かに多く締め込む程度(図2[Y線]参照)に締付てください。
- この分解・組立は、上記の適正締付作業が行われた場合、繰返し行っても管継手としての機能を損なう事はありません。



4 定期点検

4-1 保守検査

- バルブが取付けられた配管設備が保安検査の為、開放される場合は必要に応じて弁座・外部漏れ検査・作動検査を実施し、弁座・外部漏れ・作動不良等の兆候が認められたら分解検査を実施し、これに合格する事。

4-2 配管からの取外し、取付け時の注意事項

警告



- (1)バルブを配管から取外す時は、必ず配管内の流体を除去し、圧力を大気圧に戻してください。
- (2)全閉状態ではバルブ内に圧力・流体が封入されている場合があります。バルブを取外す前に必ずバルブを半開にし、圧力・流体を除去してください。
- (3)配管を流れる流体が毒性・可燃性或いは腐食性である場合には、この流体を配管及びバルブ内部から完全に取除いてください。
- (4)流体が身体に掛からないように、また引火等に十分注意して実施してください。
- (5)高所で作業を行う場合は、下に人が立ち入らない等、安全に十分注意をして作業を行ってください。

注意



- (1)保護眼鏡・作業手袋・安全靴等の保護具を身に付けて作業してください。
- (2)バルブの取外し及び取付け作業場所は、作業に必要な足場を確保してください。
- (3)バルブの取外し及び取付けには、必ず接続する配管に近い側のスパナ掛け部を使用してください。遠い側のスパナ掛け部やボデー胴部を使用しますとバルブ本体の漏れの原因となります。

取扱店

日本で最初に ISO 9001 認証取得



<https://www.kitz.co.jp>

本社 〒105-7305 東京都港区東新橋1丁目9番1号
東京汐留ビルディング

国内営業本部

北海道支店
北海道営業所 ☎011-708-6666

東北支店
東北営業所 ☎022-224-5335

北関東支店
北関東営業所 ☎048-651-5260
新潟営業所 ☎025-243-3122

東京支社

東京第一営業所 ☎03-5568-9220
東京第二営業所 ☎03-5568-9220
東京第三営業所 ☎03-5568-9272
千葉営業所 ☎043-299-1706
横浜営業所 ☎045-253-1095
東京空調計装営業所 ☎03-5568-9224

中部支社

名古屋第一営業所 ☎052-204-1061
名古屋第二営業所 ☎052-204-1062
名古屋第三営業所 ☎052-204-1230
東海営業所 ☎050-3649-3002
北陸営業所 ☎076-492-4685
甲信営業所 ☎0266-71-1441

大阪支社

大阪第一営業所 ☎06-6541-1178
大阪第二営業所 ☎06-6533-1715
大阪第三営業所 ☎06-6532-0512
大阪空調計装営業所 ☎06-6533-0350

中国支社

広島営業所 ☎082-248-5903
岡山営業所 ☎086-226-1607

九州支店

九州営業所 ☎092-431-7877

機械装置営業部

機械装置第一営業所 ☎03-5568-9221
機械装置第二営業所 ☎03-5568-9221

建築設備・機械装置ビジネスユニット

インダストリアルビジネスユニット
海外営業部 ☎050-3649-2202

インダストリアルビジネスユニット

プロジェクト営業部
プロジェクト第一営業所 ☎03-5568-9240
プロジェクト第二営業所 ☎06-7636-1060
調節弁営業所 ☎03-5568-9241

環境ソリューションビジネスユニット

ウォーターソリューション部
☎050-3649-2130

給装営業部 ☎03-5568-9222

取扱注意事項

※ご使用前に必ず製品同梱の取扱説明書をよくお読みください。

1 運搬

1-1 運搬時の注意事項

⚠ 注意



段ボール箱梱包の場合、湿気等で箱の強度が低下し、梱包が壊れて製品を損傷することがありますので、十分注意をしてください。

1-2 運搬について

- バルブの移動や配管施工される現場までの運搬は、納入された梱包・荷姿状態を維持してください。
- バルブを投げ出したり、落下・引きずり・転倒等の衝撃を与えないでください。

2 保管

2-1 保管時の注意事項

⚠ 注意



- (1) 腐食性ガスの雰囲気中には保管しないでください。ねじ部等から腐食を発生させ、機能を損ないます。
- (2) 保管中に製品を落下・転倒・振動させたり、重い荷重を掛けしないでください。バルブの機能を損ねる場合があります。
- (3) 製品を重ねて保管しないでください。荷崩れにより、人身及び製品を損傷させる恐れがあります。



- (4) 保管中は、ボールを「全開」にしておいてください。「半開」で長期保管しますと、ボールシートを变形させ、シート漏れの要因となります。

2-2 保管について

- バルブは、屋内でゴミや粉塵が無く、湿気が少ない通気の良い場所に保管してください。
- バルブは、梱包状態で木枠等の上に保管し、直接地面やコンクリートの上に置かないでください。

3 配管取付-1

3-1 配管に関する注意事項

⚠ 警告



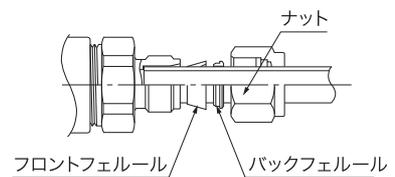
高所で作業を行う場合は、下に人が入らない等、安全に十分注意してください。

⚠ 注意



- (1) 配管取付の際、バルブを分解しないでください。
- (2) くい込み式継手部は、部品を組込んだ状態で出荷されますので分解しないでください。部品を分解した場合には、フェールール(フロント・バック)を正しい方向に組込んでください。(図1参照)

図1



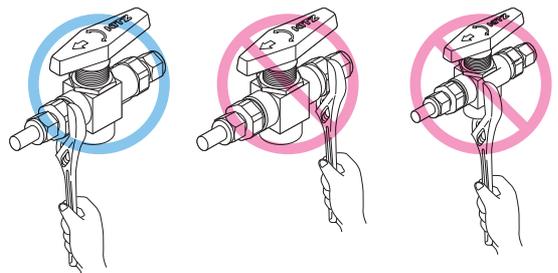
- (3) ねじ込み部のシーリング材は、温度・流体等に適したものを使用してください。



- (4) バルブにパイプレンチを掛ける事は絶対にしないでください。スパナ等の適切な工具を使用してください。



- (5) バルブの取付け、取外しには必ず接続する配管に近い側のスパナ掛け部を使用してください。遠い側のスパナ掛け部やボデー胴部を使用しますとバルブ本体の漏れの原因となります。



- (6) 配管取付の際、ボデーとキャップの接合ねじが緩む方向(左回り)に力を加えないでください。結合部で漏れ発生の原因となります。



- (7) バルブに配管の曲げモーメントが掛からないように施工してください。過大な曲げモーメントが掛かるとバルブ本体を变形させ、結合部での漏れの原因となります。